

書の友

私達の会は、月刊「書の友」に基づいて、第1第3月曜日に和室で練習をしています。月末に書の友事務局に会員の作品を送付します。現在会員は9名です。特に指導者はおきませんので、疑問点は皆で意見を出し合いながら解決しています。

漢字は楷書、行書、臨書などの半紙作品、条幅の作品

仮名は俳句、和歌、古今集高野切の臨書などの半紙作品と条幅の作品

町内の公民館で活動ができる事は幸せの事と思っています。

皆とコミュニケーションを深めつつ、ボケぬ様会話をして刺激し合い、和気あいあいと楽しく活動しています。

(富岡貴世子)



臨書の会

私たちは尾形静子先生のご指導のもとで、2018年4月から活動が始まり、会員は先生と8名のメンバーです。ペン字、毛筆を使った行書草書や時には半紙以外にも、気分をかえて、色紙やハガキに書くなどして楽しんでいます。

私の参加のきっかけは、30年前の城山公民館でのペン字教室でした。その時のメンバーも今一緒に習っていて、自分の俳句を短冊にしたため楽しんでいるメンバーもいます。私は自分の名前、住所を様々な字体で上手に書きたいと思いました。今の時代、スマホで済ませてしまうことが多く、ちょっとした漢字を忘れたり、加齢を感じているこの頃です。先生から添削されてほめられると年甲斐もなく、うれしくなり自信につながります。近年は年賀状の宛名や裏面も毛筆で書き、友人から「上手になったね」と言われお世辞でもうれしくなります。公民館で皆さんと一緒に練習に集中していると小学校のチャイムが鳴り響き、学

生気分になることもあります。ですが年齢と共に集中力も途切れお茶やおしゃべりして、ストレス解消しています。また前橋、高崎市文化会館での美術展へ、先輩達の作品を鑑賞する機会もあり、その後喫茶店で作品の感想についておしゃべりした時間もとても楽しいものでした。いつも先生のお手本を真似してよく書きますが、自分の性格が出て、雑で力んでしまい、最初から終わりまで丁寧に書けません。先生の流れるような、しなやかでバランスの良い字にいつもあこがれています。少しでも先生に近づきたいです。書道は奥深くなかなか頂上は見えません。家での練習も清書のつもりが何枚も書き損じて、自分の不器用さに思い知らされます。無心になって丁寧に書いて自分と向き合う大切なひとときです。書道の経験のない方でも興味のある方は一度是非見学にきてみて下さい。

(倉林 富江)

活動：城山公民館 実習室

毎月第1・第3水曜日

午後1時30分～3時30分